

Premium Coffee & Hot Drink Maker
プレミアムコーヒー&ホットドリンクメーカー
SS-10J

取扱説明書



※ 写真はイメージです

保証書付

このたびはクイジナート プレミアムコーヒー&ホットドリンクメーカー SS-10J をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は本機のそばなど、いつもお手元に置いてご使用ください。

本製品は日本国内専用に設計されていますので、国外での使用はできません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

安全上のご注意.....	1～3
使用上のご注意.....	4
各部のなまえ.....	5～6
ご使用前のクリーニング（湯通し）.....	7
コーヒーや紅茶などを抽出する（フィルターカップ）.....	8～9
コーヒーを抽出する（K-Cup® カプセル）.....	10～12
お湯を注ぐ.....	13
リンスをする.....	14
設定する.....	15～16
お手入れ.....	17～19
故障かなと思ったら.....	20～21
保証とアフターサービス.....	22
仕様.....	裏表紙

安全上のご注意 **必ずお守りください**

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害※の発生が想定される内容を示します。

本文中の絵表示の意味

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



△は、注意（警告を含む）を示します。



⊘は、してはいけない「禁止」の内容です。



●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

※ 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告



絶対に分解・修理・改造は行わない。

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。



本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の恐れがあります。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

感電の恐れがあります。



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

● コード・プラグの修理は販売店にご相談ください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。

交流 100V の電源以外では使用しない。

火災・感電の原因になります。



15A 以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用した分岐コンセントは異常発熱して発火することがあります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り取る。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・緩んだコンセントは使わないでください。

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。

そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれがあります。



本体を水洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。

ショート・感電のおそれがあります。



使用中や使用後しばらくは抽出ヘッド、抽出ホルダー、カプセルホルダー、フィルターカップ、抽出口などの高温部に触ったり、顔を近づけない。また、抽出ヘッドは開けない。

やけどをするおそれがあります。特に乳幼児にはさせないようにしてください。



当社が推奨または販売していない付属アタッチメントを使用しない。

火災・感電・けがの原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告



子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない。

やけど・感電・けがの原因になります。

⚠ 注意



タコ足配線はしない。

火災の原因になります。

倒したり落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。

故障や、水タンク、水タンクカバーなどが破損してけがをするおそれがあります。

カップなどを置いたまま、本体などを動かさない。

やけどの原因になります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。

火災の原因になります。

壁や家具の近くでは使わない。

蒸気や熱で家具や壁を傷め、変色・変形の原因になります。

抽出口の下にカップなどを置いていない状態で抽出しない。

やけどの原因になります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。

持ち運ぶ際は、水タンクを空にしてから行う。

水タンクが落下しケガや、水タンクの破損の原因になります。



お手入れは必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。

感電ややけどをすることがあります。

● 持ち運びや取り外しも本体が冷えてから行ってください。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

使用上のご注意

- 火気の近くでは使わないでください。(熱によって変形し、故障の原因)
- コンロやオーブンの近くなど高温になる場所に置かないでください。(熱によって変形し、故障の原因)
- 使用後はカプセルホルダーを洗浄し、ドリフトレーは定期的に洗浄してください。
- 開閉ハンドルや抽出ヘッド、抽出ホルダーを持って移動しないでください。(故障の原因)
- 水以外の液体（お湯、ミルク、酒など）を水タンクに入れないでください。(故障の原因)
- 水は常に新しいものを使用してください。
- 長期間お使いにならないときは、水タンクを空にし、本体内部を乾燥させてください。
- 水タンクを外すときは、水タンクの底に付着した水が落ちることがありますので、注意してください。
- 凍結するおそれのある場所に保管しないでください。(凍結による故障の原因)
- 温度の低い場所に保管していた場合は、2 時間程度あたたかい室内に本機を置いてからご使用ください。
- 屋外では使わないでください。

各部のなまえ

1. 水タンクカバー
2. 水タンク(着脱式・容量約2200mℓ)
3. 開閉ハンドル
持ち上げると抽出ヘッドが開きます。
4. 抽出ヘッド
5. 抽出ホルダー
カプセルホルダーまたはフィルターカップを
セットします。
6. 抽出口
7. ドリッププレート
8. ドリフトレー
9. カプセルホルダー
K-Cup®をセットします。
10. フィルターカップ
11. フィルターカップ収納部
12. 電源スイッチ
(本体右側にあります)
13. 電源コード
(写真にはありません)





ご使用前のクリーニング(湯通し)

はじめてご使用になるときには、抽出前に次の手順にしたがってクリーニングをしてください。

- クリーニングするときは、カプセルホルダーまたはフィルターカップを抽出ホルダーに入れないでください。

1 本体から水タンクと水タンクカバーを取り外し、洗います。

水タンクをまっすぐ持ち上げて外し、台所用洗剤とお湯で洗い、よくすすぎます。



図1

2 水タンクに MAX（最大）水位目盛まで水を入れ、カバーをして本体に取り付けます（図1参照）。

3 ドリフトレーにドリフトプレートがセットされていることを確認してから、ドリフトプレートにマグカップを置きます。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、本体右側の電源スイッチを押して電源をオンにします。

LCDディスプレイにOPEN HEAD、AUTO OFF SETと表示されます。

- 電源スイッチは、押した後、自動的に元の位置に戻ります。

5 開閉ハンドルを上げて抽出ヘッドをいったん開け、閉め直します。

LCDディスプレイにREADY、AUTO OFF SET、抽出量のアイコンが表示され、初期設定の抽出量が黒いマグカップで表示されます（図2参照）。

- K-Cup®カプセルまたはフィルターカップは入れないでください。
- 初期設定でAUTO OFF SETは30分に設定されています。



図2

6 抽出（BREW）ボタンを押します。

LCDディスプレイにBREWING、AUTO OFF SET、初期設定の抽出量が表示され（図3参照）、クリーニングサイクルが始まります。



図3

7 お湯を捨てます。

これで初回のクリーニングは完了です。コーヒーを淹れる準備ができました。

コーヒーや紅茶などを抽出する(フィルターカップ)

フィルターカップを使用すると、お好みのコーヒー豆や、紅茶、お茶などを抽出することができます。

1 抽出前の準備をします。(10 ページ **1** ～ **3** 参照)

2 フィルターをフィルターカバーにセットします。

フィルターカップの取り出し方

本体右側にある収納部のくぼみを押しつけて開き、取り出します (図7参照)。

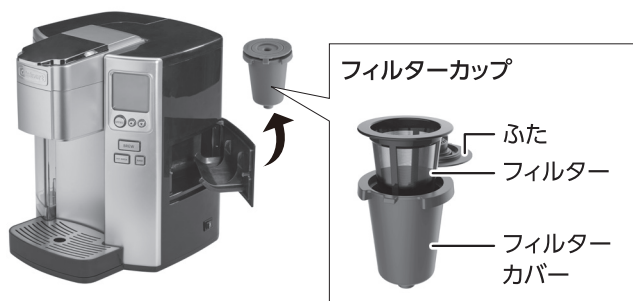


図7

お願い

お使いになる前に、台所用洗剤とお湯で洗い、すすいでしっかりと乾かしてください。部品はすべて食器洗浄乾燥機でお使いいただけます。

3 フィルターに挽いたコーヒー豆または紅茶などの茶葉を入れます。

- 挽いたコーヒー豆や茶葉を押し込まないでください。
- フィルターの上縁にコーヒーの粉や茶葉が残らないようにしてください。

[コーヒー・茶葉などの最大量]

種 類	最 大 量
挽いたコーヒー豆	約12g (ティースプーン約8杯)
煎茶・茎茶	約6g (ティースプーン約2.5杯)
玄米茶	約6g (ティースプーン約3杯)
ほうじ茶	約4g (ティースプーン約4杯)
紅茶(大きめリーフ)	約6g (ティースプーン約4杯)
紅茶(小さめリーフ)	約8g (ティースプーン約4杯)

お願い コーヒー豆の細挽きの粉は、カプセルからあふれ出る恐れがあるため、中挽きの粉をご使用ください。

- 最大量はコーヒー・茶葉の種類によって多少異なりますので、お好みに合わせてご調整ください。
- インスタントコーヒーは使用できません。

コーヒーや紅茶などを抽出する(フィルターカップ)(続き)

4 フィルターカップのふたを閉じます。

5 ドリフトレーにドリフトプレートがセットされていることを確認し、ドリフトプレートの中央にマグカップを置きます。

- ドリフトプレートやトレーを取り外すと、トラベルマグなど背の高いものを置くこともできます。

6 開閉ハンドルを持ち上げて抽出ヘッドを開け、カプセルホルダーを取り外します。

7 抽出ホルダーにフィルターカップをセットします。

フィルターカップは、押し込んで取り付ける必要はありません (図8参照)。

8 抽出ヘッドを閉じます。



図8

9 コーヒーカプセルと同じようにコーヒーまたは紅茶などを抽出します。
(10・11 ページ **6** ～ **8** 参照)

10 抽出後は開閉ハンドルを持ち上げ、抽出ホルダーからフィルターカップを取り出します。



注意

フィルターカップが熱くなっていますので
やけどにご注意ください。

カプセルホルダーを戻すには

カプセルホルダーの縁にある矢
印を抽出ホルダーの矢印と合わ
せ、軽く押しではめ込みます。



図9

11 使用後は、フィルターカップ内のコーヒーや茶葉などを捨て、洗浄します。

- フィルターカップ内の使用済のコーヒーや茶葉などの廃棄は、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。
- 洗浄後は、水分を拭き取るか、十分に乾かしてください。

コーヒーを抽出する(K-Cup[®]カプセル)

本製品は、K-Cup[®]カプセルに対応しています。

1 水タンクを取り外して MAX（最大）水位目盛まで水を入れます。

2 水タンクを本体に戻します。

3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押します。

4 ドリフトレーにドリフプレートがセットされていることを確認し、ドリフプレートの中央にマグカップを置きます。

- ドリフプレートやトレイを取り外すと、トラベルマグなど背の高いものを置くこともできます。

5 抽出ヘッドを開け、カプセルホルダーに K-Cup[®] をセットします（図 4 参照）。

- K-Cup[®] のふたを剥がしたり、穴を開けたりしないでください。



図4



注意

カプセルホルダーにはカプセルに穴を開けるため上下に2本の鋭い針があります。ケガを防ぐため、カプセルホルダーに指を入れないでください。

6 抽出ヘッドを閉じます。

抽出ヘッドを閉じると、LCDディスプレイにREADYと表示されます（図5参照）。抽出量のアイコンすべてが表示され、初期設定の抽出量が黒色のマグカップで表示されます。

7 ▲ または ▼ ボタンを押して抽出量を選びます。



約90ml



約120ml



約150ml



約180ml



約210ml



図5

コーヒーを抽出する(K-Cup[®] カプセル) (続き)

8

抽出 (BREW) ボタンを押してコーヒーを抽出します。

抽出 (BREW) ボタンのみ点灯し、LCDディスプレイには BREWING と、選択した抽出量のアイコンが表示されます。

- 抽出が始まるまで少し時間がかかる場合があります。
- 抽出時間は約1、2分ですが、選択した抽出量によって異なります。
- 終了時にはカプセルからすべての液体を取り除くために空気が一気に放出されます。

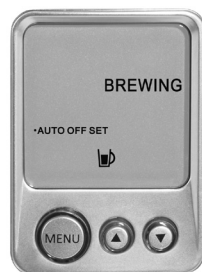


図6



ポイント

抽出を中断するときは

- 抽出 (BREW) ボタンを再度押すか、電源スイッチを押して電源を切ります。
- 中断すると、次回抽出時に抽出量が少なくなる場合があります。それを防ぐには、抽出を中断したあとにリンスしてください (14ページ参照)。



注意

抽出中は、カプセルホルダーに熱湯が溜まります。やけどを防ぐため、抽出中は開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開けたり、水タンクを取り外したりしないでください。

9

コーヒーを注ぎ終わったら、開閉ハンドルを持ち上げて、使用済のカプセルを取り出して廃棄します。

- K-Cup[®] の廃棄については、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。



注意

抽出完了直後は、K-Cup[®] やカプセルホルダーが熱くなっていますので、やけどにご注意ください。

10 使用後はカプセルホルダーを取り外し、洗浄します。

- カプセルホルダー内部の鋭い針にご注意ください。
- 洗浄後は水分を拭き取るか、十分に乾かしてください。

11 抽出ヘッドを閉じます。



ポイント

- 抽出後1分以上経過するとアイドルモードになり、OPEN HEADと表示されます。
- もう一度抽出するときは、開閉ハンドルを開け閉めしてください。LCDディスプレイにREADYと表示されます。
- 1週間以上使用しなかった場合は、次の抽出を行う前にリンスすることをお勧めします(14ページ参照)。

水を入れる

タンクの水の量が少なくなったりタンクが外れている場合、LCDディスプレイにADD WATERと表示されます。ADD WATERが表示されたら抽出はできなくなります。水タンクに水を入れた後、本体に取り付けてください。

お願い 抽出処理中は水タンクを取り外さないでください。

お湯を注ぐ

本製品ではお湯を注いでホットチョコレート、紅茶、スープなどを作ることができます。

ポイント

お湯をお使いになる前にリンスして、残っているコーヒー、紅茶などの風味を洗い落とすことをお勧めします。

1 ドリップトレイにドリッププレートがセットされていることを確認し、ドリッププレートの中央にマグカップを置きます。

● ドリッププレートやトレイを取り外すと、トラベルマグなど背の高いものを置くこともできます。

2 開閉ハンドルを持ち上げ、カプセルホルダーまたはフィルターカップがセットされていないことを確認します。

3 開閉ハンドルを下げて抽出ヘッドを閉じます。

抽出ヘッドを閉じると、LCDディスプレイにREADYと表示されます。抽出量のアイコンすべてが表示され、初期設定の抽出量が黒色のマグカップで表示されます。

4 ▲ または ▼ ボタンで抽出量を選びます。



約90mℓ



約120mℓ



約150mℓ



約180mℓ



約210mℓ

5 お湯 (HOT WATER) ボタンを押します。

お湯を注いでいる間は、お湯 (HOT WATER) ボタンのみ点灯し、LCDディスプレイにHOT WATERと選択した抽出量のアイコンが表示されます (図10参照)。

お湯を注ぎ終えた後、お湯 (HOT WATER) ボタンは1分間点灯します。点灯中は、続けてお湯を注いだり、リンスをすることができます。

抽出後1分以上経過するとアイドルモードになり、OPEN HEADと表示されます。



図10

ポイント

お湯を注いだ後すぐに抽出する場合は、抽出ヘッドを開いてカプセルホルダーまたはフィルターカップをセットし、通常通り抽出します。

リンスをする

リンスをすることで、内部に残っている風味を洗い落とすことができます。
リンスには約90mlのお湯を使用します。

1 ドリフトレーにドリフプレートがセットされていることを確認し、ドリフプレートの中央にマグカップを置きます。

- ドリフプレートやトレーを取り外すと、トラベルマグなど背の高いものを置くこともできます。

2 開閉ハンドルを持ち上げ、カプセルホルダーまたはフィルターカップがセットされていないことを確認します。

3 開閉ハンドルを下げて抽出ヘッドを閉じます。

抽出ヘッドを閉じると、LCDディスプレイにREADYと表示されます。

4 リンス (RINSE) ボタンを押します。

リンス中はリンス (RINSE) ボタンのみ点灯し、LCDディスプレイにRINSEと表示されます (図11参照)。排出されたお湯は捨ててください。

リンス終了後、リンス (RINSE) ボタンは1分間点灯します。点灯中は、続けてリンスしたり、お湯を注ぐことができます。

抽出後1分以上経過するとアイドルモードになり、OPEN HEADと表示されます。



図11

ポイント

リンス後すぐに抽出する場合は、抽出ヘッドを開いてカプセルホルダーまたはフィルターカップをセットし、通常通り抽出します。

設定する

メニュー（MENU）ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

メニュー（MENU）ボタンを押して、設定する項目を選び、▲▼ボタンで設定します。

設定後は、メニュー（MENU）ボタンを項目の最後まで押して、設定画面を閉じます。



CLOCK

時計を設定します。

設定方法

- ① ▲ ボタンを長押しして、時間を設定します。
 - ② ▼ ボタンを長押しして、分を設定します。
 - ③ メニュー（MENU）ボタンを押して設定を確定します。
- 設定後は、LCDディスプレイに設定した時間が表示されます。



ポイント

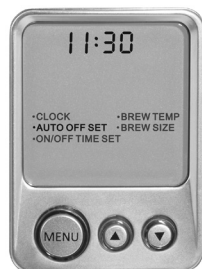
製品の使用中に停電した場合、もう一度時計の設定を行う必要があります。上記の手順に従って時計をリセットしてください。

AUTO OFF SET

最後に抽出を行った後、自動的に電源をオフにするまでの時間を設定します。

設定方法

- ① ▲ ボタンで時間を設定します。
最大9時間まで設定できます。
OFFに設定すると、自動的に電源をオフにしません。
 - ② メニュー（MENU）ボタンを押して設定を確定します。
- 設定後は、LCDディスプレイにAUTO OFF SETと表示されます。



ON/OFF TIME SET

自動的に電源をオンまたはオフにする時間を設定できます。

ポイント

- この機能を使う場合は、時計を正しく設定してください。
- オンタイマーを作動させるには、電源がオフになっている必要があります。

設定方法

① オンタイマーを設定します。

時間の設定：▲ ボタンを長押し

分の設定：▼ ボタンを長押し

② メニュー（MENU）ボタンを押して、オンタイマーの設定を確定します。

③ オフタイマーを設定する場合は、同様に時間と分を設定し、メニュー（MENU）ボタンを押して確定します。

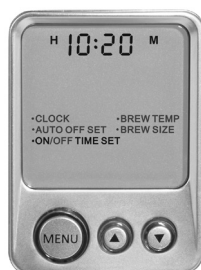
オフタイマーを設定しない場合は、設定せずにメニュー（MENU）ボタンを押してください。

設定後は、LCDディスプレイに設定内容が以下のように表示されます。

オンタイマーのみ：ON TIME SET

オフタイマーのみ：OFF TIME SET

オンタイマー、オフタイマー両方：ON/OFF TIME SET



BREW TEMP

抽出温度を設定します。（初期設定はXHOT）

設定方法

① ▲または ▼ ボタンでXHOTまたはHOTを選択します。

XHOT（エクストラホット）の方がHOTより熱い温度で抽出されます。

② メニュー（MENU）ボタンを押して設定を確定します。



BREW SIZE

抽出量の初期値を設定します。（初期設定は150mℓ）

設定方法

① ▲または ▼ ボタンで抽出量を設定します。

② メニュー（MENU）ボタンを押して設定を確定します。



ポイント

抽出量は、抽出前にいつでも選択することができます。

お手入れ

本体外側

各部が十分に冷めてから行ってください。

湿らせた柔らかい布に台所用洗剤を付けてお手入れします。

- 研磨性の布やスチールたわし、スポンジなどの硬いナイロン面は使用しないでください。
- 食器洗浄乾燥機や熱湯は使用しないでください。

ドリッププレート／ドリップトレイ

本体から外して、台所用洗剤とスポンジで洗います。

- スチールたわしやスポンジの硬い面などの研磨性の素材は使用しないでください。
- ドリップトレイは持ち上げるだけで外れますが、残液がこぼれないよう水平にして外してください。
- 食器洗浄乾燥機もお使いいただけます。

穴あけ針



穴あけ針は、抽出ヘッドの内部にあります。詰まってしまった場合、細い針金（ゼムクリップなど）を差し込み、詰まっているものを取り除きます。

図12

カプセルホルダー／ファンネル部

本体から外して、台所用洗剤とスポンジで洗います。

● 食器洗浄乾燥機もお使いいただけます。

カプセルホルダーの取り外し方法

- ① 開閉ハンドルを持ち上げ、抽出ヘッドを開きます。
- ② カプセルホルダーの上部を持って取り出します。



注意

カプセルホルダーにはカプセルに穴を開けるため上下に2本の鋭い針があります。ケガを防ぐため、カプセルホルダーに指を入れないでください。

ファンネル部のお手入れ

ファンネル部の取り外し／取り付け方法

カプセルホルダーの下部をひねって取り外します。

ファンネル部を取り外すときは、最初の数回は固めですが異常ではありません。

何回か行くと取り外しやすくなります。

取り付けるときは、ファンネル部のツメとカプセルホルダーのくぼみを合わせてカチッと音がするまで押し込みます。



抽出口のクリーニング

抽出口が詰まってしまった場合、細い針金（ゼムクリップなど）でクリーニングします。

ファンネル部の抽出口に針金を差し込み、詰まっているものを取り除きます。



水タンク

水タンクは、使用していくうちに、水に含まれるミネラル分（カルシウム・マグネシウムなど）により退色、シミ、汚れが生じることがありますが、異常ではなく、本製品の性能にも影響しません。

ただし、最小限にとどめるため、定期的に水タンク内部を糸くずの出ない布で水拭きしたり、軽く水ですすいでください。

お手入れ (続き)

水垢の洗浄

お住まいの地域の水質により、ミネラル分（カルシウム・マグネシウムなど）が製品内に付着することがあります。

これは水垢と呼ばれるもので人体には無害ですが、抽出性能を低下させますので、3～6カ月ごとに水垢の洗浄をすることをお勧めします。

- 水垢がつきやすい場合は、洗浄する頻度を増やしてください。
- 本製品には、水垢の堆積によって製品の性能低下が生じていることを検知するセンサーが搭載されています。検知されると、LCDディスプレイにDE SCALEと表示されます（図13）。この場合、すぐに水垢の洗浄を行ってください。ただし、DE SCALEと表示されない場合も、定期的に水垢の洗浄を行うことをお勧めします。



図13

ポイント

本製品はDE SCALEが表示されても作動しますが、表示後も水垢の洗浄を行わない場合、製品性能が低下する恐れがあります。

1

酢で洗います。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押して電源をオンにします。
- ② AUTO OFFおよびOFF TIME機能をオフにします（15ページ参照）。
- ③ 抽出ホルダーにカプセルホルダーまたはフィルターカップがないことを確認し、水タンクに酢600mlと水1200mlを入れます。
- ④ 容量500ml以上の耐熱性カップ（紙コップ不可）をドリッププレートに置きます。
- ⑤ お湯（HOT WATER）ボタンとリンス（RINSE）ボタンを長押しすると、水垢洗浄処理が始まります。お湯が出たらマグカップの中身を捨てます。
- ⑥ LCDディスプレイにADD WATERが表示されるまで、手順⑤を繰り返します。

2

お湯ですすぎます。

- ① 水タンクをしっかりとすすぎ、水を入れます。
- ② お湯（HOT WATER）を押します。お湯が出たらマグカップの中身を捨てます。
- ③ LCDディスプレイにADD WATERが表示されるまで、手順②を繰り返します。
- ④ 酢の匂いが気になる場合は、手順②をさらに数回繰り返してください。

ポイント

上記水垢洗浄の手順を行ってもLCDディスプレイからDE SCALEの表示が消えない場合は、繰り返し行ってください。

故障かなと思ったら

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
飲み物が抽出されない。	水が少ない (ADD WATERまたはNOT READYと表示されている)	水をMIN (最少) 水位目盛以上入れてください。また、水タンクが本体にしっかりと取り付けられていることを確認してください。それでも症状が改善しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	抽出ヘッド内部の穴あけ針が詰まっている	穴あけ針をクリーニングしてください (17ページ参照)。
	抽出ヘッドが開いている	抽出ヘッドを最後までしっかりと閉めてください。▲と▼ボタンを押してLCDディスプレイにREADYと表示されたら、抽出 (BREW) ボタンを押します。
飲み物の抽出量が少ない。	抽出ヘッド内部の穴あけ針が詰まっている	穴あけ針をクリーニングしてください (17ページ参照)。
	カプセルホルダーの抽出口が詰まっている	カプセルホルダーをクリーニングしてください。(18ページ参照)。
	水垢がたまっている	水垢を洗浄してください (19ページ参照)。水垢洗浄を2回繰り返してもコップいっぱいに抽出されない場合は、お客様ご相談窓口にご連絡ください。
	その他	水タンクが正しく取り付けられていることを確認し、リンスしてください (14ページ参照)。
LCDディスプレイに時間が表示されない。	時計が設定されていない	時計を設定します (15ページ参照)。
	停電した	時計を再設定してください (15ページ参照)。
飲み物が薄い、水っぽい。	お湯の量が多い	少量の抽出量で試してください。
自動的に電源オンまたはオフになる。	AUTO OFF SET または ON/OFF TIME SETが設定されている	初期設定で AUTO OFF SET が30分に設定されています。設定を変更したい場合は、15ページを参照してください。ON/OFF TIME SETが設定されている場合は、15ページを参照し、設定を変更してください。

故障かなと思ったら（続き）

こんなとき	原因	対処方法
水タンクが満水でもLCDディスプレイにADD WATERと表示される。	水タンクが正しくセットされていない。	水タンクを本体に確実にセットします。
LCDディスプレイにEEOと表示される。	—	お客様相談窓口にご連絡ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず、
お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は当社「修理センター」へ
- 使い方・部品・ご購入などのお問い合わせは、
当社「カスタマーサービス係」へ

保証書(裏表紙をご覧ください)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い
上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあ
と保管してください。

保証期間：お買い上げ日から

本体1年間 ※付属品の保証はございません。

補修用性能部品の保有期間

当社では本製品の補修用性能部品(商品の機能を維持す
るために必要な部品)を製造打ち切り後、最低5年間保有
しています。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理受付させ
ていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えて
ご持参ください。なお、直接当社修理センター、当社カスタ
マーサービス係に送付した場合の送料はお客様負担となります。
確認のため、修理内容を事前に当社修理センターまでご連絡く
ださることをお勧めいたします。

●保証期間を過ぎているときは

ご要望により有償修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	プレミアムコーヒー&ホットドリンクメーカー
品番	SS-10J
お買い上げ日	年 月 日
故障の原因	できるだけ具体的に

コンエアージャパン合同会社 お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は、製品名・品番をご確認のうえ下記窓口へ

修理ご相談窓口

コンエアージャパン 修理センター



0120-137-240

受付時間：9:30～18:00

(土・日・祝祭日・年末年始などの長期連休をのぞく)

修理品のお送り先は修理センターでの受付時にご案内申し上げます。

使い方・部品・保証などのご相談窓口

コンエアージャパン カスタマーサービス係



0120-191-270

受付時間：9:00～12:00 13:00～17:30

(土・日・祝祭日・年末年始などの長期連休をのぞく)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

コンエアージャパン合同会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

仕 様

品名:プレミアムコーヒー&ホットドリンクメーカー
形名:SS-10J

電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1000W
抽出方式	ドリップ式
容 量	約2.2L
質 量	約3.3kg
外形寸法	幅約 240mm × 奥行 280mm × 高さ 310mm
電源コードの長さ	約1.5m(有効長)

※製品のデザインは改善のため予告なく変更することがあります
※製品の色は印刷物と比較して実際の色と少し異なる場合があります
※イラストは簡略化して表現してあるため製品と多少異なります

愛情点検



長年ご使用のプレミアムコーヒー&ホットドリンクメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか？

- ご使用中、コード・電源プラグが異常に熱くなる。
- コードを折り曲げると通電したりしなかったりする。
- 通電中に異常な音ができる。
- その他の異常・故障がある。

使用中止

電源プラグを抜き、故障や事故防止のため、販売店、または当社まで点検・修理をご相談ください。

IB-SS10J-01-1608